

広島修道院へようこそ

理事長 中島充人

修道院へようこそ

修道院は、創設者北村藤三郎翁が、儒学者、教育者だったことから、この名称となっています。子ども達に、そして大人の役職員皆に向けられた創設の想いです。キリスト教の修道院ではありません。

様々な境遇から、好むと好まざるとに関わらず当院に来ることになった子ども達、そして子どもが大好きで、子ども達に寄り添ってその成長の支えになりたいと志す大人の皆さん方に「**修道**」はやや重い響きがあるかもしれません。

でも、修道院で過ごした子ども達は、大人になった時に、修道院で暮らし、精一杯頑張った日々が、きっと「**心の糧**」となるでしょう。そのような場所でありたいと、私たちは願っています。

また、ここで働く職員は、子ども達の様々な課題を日々一緒に解決する中で、必ず壁にぶつかります。施設に限らず保育園の職員も同様です。

「**道を修める**」とは、私達が、理想の養育、保育に向けて試行錯誤する日々の姿勢であり、私達のプライド・矜持でもあります。

私達はここでの仕事を一緒にしてみたいと希望される「**あなた**」に、お約束します。

- ① 子ども達の時間に合わせる勤務は容易でないこともあります。
あなたが将来結婚されても、出産、育児の時期を迎えられても、少しでも長く勤めていただけるように、**家庭生活と両立できる**働きやすい環境づくりに努力します。**ここ数年新たに活躍できる施設・業務も増やしてきています。**
- ② 児童養護施設2施設、乳児院、保育園、児童家庭支援センターの各施設長が皆さんと同じ目線で、子ども達の養育、保育に日々一緒に取り組みサポートします。様々な研修やOJTであなたの成長を応援します。経験値を上げるためなど、希望による施設間の異動も可能です。
- ③ そして、皆さんの日々の「**修道**」の積み重ねの先には、子ども達の卒院、卒園の時の「**感動**」という何物にも代えがたい「**報酬**」が、待っています。1年2年3年と長く子ども達と触れあえば、他の仕事、職業では味わえないようなお返しが待ってます。私も毎年もらい泣きをさせていただきます。
それは、卒院生の言葉です。「**僕は(私は)修道院に来て毎日嫌で嫌で仕方なかった。でも、それと同じくらい、ここに来て良かったと今は思っています。〇〇先生本当にありがとう。**」と

結びに、このサイトを読んでいただいた「**あなた**」に、私からのメッセージです。

ここの仕事は確かに容易ではありません。多くの子ども達に「**寄り添う**」とは、頭脳労働も、肉体労働もありますが、最も重要なのは「**感情労働**」です。子ども達との関りの中で、御自分の感情を出したり抑えたりする必要があります。難しいだけに、プロとしての訓練も経験も必要です。それだけに本当にやり甲斐のある仕事です。

ようこそ修道院へ、心より歓迎いたします。